

## パーパス経営と持続的競争優位の両立に関する研究：YAMAKIN 株式会社の事例分析

1250494 橋本 陽

指導教員 土屋 哲

### 研究背景

近年、企業のパーパス（存在意義）が注目を集める中、持続的な利益創出との両立が課題となっている。特に地方の中小企業にとって、この課題への取り組みは地域の持続可能性にも直結する重要な問題である。

### 研究目的

本研究は、高知県に本社を置く中小企業 YAMAKIN 株式会社の事例を通じて、持続的競争優位の確立とパーパスの追求の両立プロセスを分析し、その実現方法について示唆を得ることを目的とする。

### 研究方法

YAMAKIN 株式会社を対象とした事例研究を行った。公開情報の収集、学術文献調査、インタビュー・現地調査によりデータを収集し、時系列分析、パターン・マッチング、比較分析などの手法で分析を行った。

### 分析結果

YAMAKIN は、「歯科医療を通じて人々の健康に貢献する」「地域医療を守る」というパーパスを設定し、テクニカル・アドバイザー（TA）システムの導入、DX 化の活用、自社製作による技術資料の展開などを通じて、パーパスの追求と持続的競争優位性の確立を両立させていることが明らかになった。

### 考察・結論

YAMAKIN の事例から、パーパスの追求と持続的競争優位の確立が相互に強化し合うメカニズムが明らかになった。パーパスに基づく技術開発、顧客密着型のビジネスモデル、地域貢献と技術革新の融合、組織文化の醸成、デジタル技術の戦略的活用などが、このメカニズムの重要な要素となっている。本研究は、中小企業がパーパス経営と持続的競争優位性の確立を両立させる可能性を示すとともに、その具体的な方策について実務的示唆を提供している。